

2006年9月29日

富士重工業株式会社  
ジャトコ株式会社

## 富士重工業・ジャトコによるC V T共同事業の新たな発展について

富士重工業（本社：東京都新宿区、社長：森 郁夫、以下富士重）とジャトコ（本社：静岡県富士市、社長：石田 繁夫）は、軽自動車およびサブコンパクトカー用C V T（無段変速機）の共同事業を進めていくために2003年に設立した合弁会社「富士A T」を発展的に解消し、新たなビジネスモデルに移行することに合意した。

サブコンパクトカー：1.0～1.3リッタークラスの小型車

富士重、ジャトコ両社は、富士A Tを通じた相互協力のもと新型C V Tを共同開発。地球環境問題への対応が求められている中、新型C V Tはフリクションの低減や発進時の油圧の最適化、変速範囲の拡大、軽量化など車両の燃費向上に貢献し、今年6月に発売されたスバル ステラへの搭載を皮切りに、スズキ ワゴンRに搭載されるなど採用車種の拡大が進んでいる。

商品開発から市場投入という第一段階の目的が達成された今、一層の競争力向上のために、合弁形態を解消して管理部門のスリム化を図り、両社一体で従来以上のコスト削減を実現し、さらなる拡販に向けた営業活動を強化していく。

事業形態の見直しにより、富士重が使用するC V Tユニットについては富士重の内製に切り替わる。また、富士重以外の会社へのC V Tユニットの供給は、富士A Tを介さない形に変更し、富士重が生産、ジャトコが販売という役割分担は継承する。

新たなビジネスモデルにおいても、両社は、本事業の発展のために積極的に取り組んでいく。

### 【参考：富士A Tの概要 -2006年9月1日現在-】

社 名：富士A T株式会社

事 業：軽自動車およびサブコンパクトカー用C V Tの開発・生産

本 社：群馬県邑楽郡大泉町（富士重工業株式会社群馬製作所大泉工場内）

代 表 者：池田 孝一

従業員数：11名